

子育て・教育

子ども医療費 神戸：負担軽く 35市町：中3まで無料に

中学卒業まで医療費無料化を8年前の初当選以来一貫して訴え、神戸では自己負担額が1回400円に減り、所得制限もなくなりました。無料化は県内41市町のうち35市町まで広がりました。神戸もすぐに無料にしましょう。



中学校給食実現 ぜび改善を!

市民の皆さんとともにくり返し訴えて、神戸でも2015年度に中学校給食が全校実施されました。しかし、おかずが冷たいお弁当の注文方法は県内で神戸だけ。改善が急務です。

全教室にエアコン 前向き答弁

昨年の猛暑で、遅れている体育館を含め全教室にエアコン設置を県に要求。避難所指定の体育館に設置を促進したいとの前向きな答弁を引き出しました。

政務活動費

領収書ネット公開が 実現

政務活動費の不正使用を防ぐカギとして、共産党が以前から求めてきた領収書のインターネット公開が実現しました。



公立小中学校 バス・電車通学費全額補助に

東灘のお母さん方が運動し、私たちが取り組みを強め、2015年度に半額補助が実現し、2018年度から全額補助に。今後、バス通学の全生徒に適用させましょう。

他にも

- 第2子の保育料の負担軽減
- 私立高校授業料補助の増額が実現しました。

若者支援

中小企業奨学金 返済支援制度が創設

県独自の給付制奨学金や奨学金返済支援を求め、2017年度に全国初の奨学金返済支援制度ができました。支援制度のある中小企業へ就職した若者に、企業とともに県が年間最大6万円を支給するもの。さらに拡充を求めています。

みなさんと一緒に

実現 しました!

災害対策

高潮被害 深江・高橋川の堤防かさ上げが決定

- 昨年9月の台風による高潮で深江の高橋川が氾濫した際、2時間後に現場に。県に2度と起きないように対策と被害に遭った方々への支援を強く求め、前倒しで堤防かさ上げが決まりました。
- 同高潮被害で、床上・床下浸水と被災事業所への支援金、正確なハザードマップ作成を県に要求。床上浸水世帯の一部に支援金支給が決まりました。



氾濫直後の高橋川・深江橋で被害を調査 (昨年9月4日)

土砂災害 防災工事すすむ

- 昨年7月の鴨子ヶ原の土砂崩れで、県や市に防災対策を求め、応急工事が実施されました。引き続き本工事を求めています。
- 土砂崩れが起きた保久良山の斜面対策を求め、工事が進行中です。巨石が転落した住吉台では復旧とともに広範囲の防災対策を求め、工事が完了しました。



避難所で要望を聞く(昨年7月)



工事が完了した住吉台。斜面は緑化され、歩道には桜が再び植えられます

イノシシ被害対策が前進 山に帰して共生を

東灘の深刻なイノシシ被害をなくすために、あらゆる機会に県に訴え、署名も集めました。その結果、2015年度に初めて県の対策予算がつき、神戸市では餌付け禁止条例が強化され、人身被害は減りました。しかし被害はまだ多く、頑張ります。イノシシは森林で暮らす本来の姿に戻しましょう。



「イノシシ問題を考えるついで」を開催(昨年12月)

六甲アイランド

新スーパー決まる

六甲アイランドのパントリー撤退問題で住民アンケートを行い、たくさんの方の声をもとに店舗誘致などを市に求め、新スーパー設置が決まりました。六甲アイランドのまちづくりと一緒に取り組みます。



住民の方と店舗誘致を市に求める (昨年8月)

きた結の あゆみ

京都府長岡京市で生まれ、京都市右京区で育ちました。東灘区の神戸女子薬科大学(現・神戸薬科大学)に進学し、1994年から薬剤師として東神戸病院などに16年間勤務しました。

生き方を決定的にしたのは、1995年の阪神・淡路大震災です。あの日、全壊した寮のドアを蹴破って脱出

し、たどり着いた東神戸病院は野戦病院のよう。必死に救援活動にあたりました。

地震では助かったのに、多くの方が生活を立て直せず、身近な患者さんを含め自殺や孤独死を目の当たりにしてきました。被災者を置き去りにし、神戸空港建設に邁進する政治に心底憤りました。この体験が、県会議員という道にすすむ動機になりました。



薬局窓口で(2010年6月)

期待します



東神戸病院理事長 藤末 衛さん

きた結さんは、阪神・淡路大震災の時に私たちの病院の薬剤師として被災者に寄り添い、東日本大震災直後には現地支援に。昨年の台風・豪雨では救援や調査、県政への反映も。いざという時に、住民目線で活躍する議員として3期目へ。がんばれ!



みんなの居場所 海運堂 砂田 沙紀さん

公立幼稚園の閉園に関する説明会で、きた結さんとお話する機会がありました。いつも市民の声・現場の声に耳を傾けてくださるので、とても心強く思います。